

令和5年度 第2コミュニティ町政懇談会 11月17日(金) 参加者：町民16名 職員8名

No.	カテゴリー	発言内容	回答内容	回答者
1	小布施町役場職場環境改善に向けた取り組みについて	職員の年休取得状況はどうなっていますか。	年休は、多くの職員が5日～10日程度しか取得できていない状況です。職員数の増加により仕事の効率化や業務負担の軽減が進めば、年休の取得日数は今後増えていくと考えています。 また、職員の就業時間管理と業務の振り分けを適切に行い、休みを取れる環境を整えていきたいと考えています。	新井副町長
2	小布施町役場職場環境改善に向けた取り組みについて	役場の中でメンタルヘルスの相談窓口はどのような形で設置されていますか。	職員同士では相談しづらい部分もあるため、外部の精神保健福祉士や臨床心理士に相談できる窓口を設置しています。 職員の心理面のケアとしては職員の様子を見ながら対応し、問題があれば声をかけてコミュニケーションを取るようにはしています。	新井副町長
3	小布施町役場職場環境改善に向けた取り組みについて	新規採用者の離職原因とフォローについてお聞かせください。	新規採用者の離職原因は結婚等によるものもありますが、職場への不適應などが理由の離職者も数人いたことを把握しています。現時点では体制が十分に整備されていないところもあるため、フォローが行き届いていない部分もあったと感じています。職場の風土改善に取り組むことで、離職防止につなげていきたいと考えています。	桜井町長
4	小布施町役場職場環境改善に向けた取り組みについて	町政懇談会で出た意見や指摘について、職員間で共有や検討をされていますか。	職員間で共有し、改善可能な点については改善を図っていきたいと思います。 いただいたご意見の中で、ご回答が十分でないものがあればでしっかり確認したいと思います。	新井副町長
			【担当課回答】 町政懇談会で出た意見や指摘事項に対する回答については、自治会長様へ提出しています。また、町のホームページでも公開しております。	企画財政課広報情報係

令和5年度 第2コミュニティ町政懇談会 11月17日(金) 参加者：町民16名 職員8名

No.	カテゴリー	発言内容	回答内容	回答者
5	小布施町役場職場環境改善に向けた取り組みについて	役場の環境改善を行った結果、町民や自治会への影響、自治会へお願いしなければならない事などについて、整理されていればお聞かせください。また、残業代を支払う中で、人件費は上がっていくということで良いでしょうか。	役場の仕事を減らしたことにより、町民や自治会に対して負担増をお願いすることは想定していません。人件費については一定程度上がると考えてますが、町の財政への影響がでないように注意が必要と考えています。	桜井町長
6	地域の課題について	小布施駅前前の活用方法について、幅広いメンバーが参加し、駅前を検討していけるような会議体を改めて設けていただきたい。	小布施駅前を風情のあるものにしていければと思っています。今後、駅前検討会議を行いたいと考えています。	桜井町長
			【担当課回答】 過去においてもこのような会議を開催した経過はありますが、あらためて幅広い方にご参加いただき、まずは駅前のあり方などについてご意見を伺う場を来年度開催します。	建設水道課都市・建設係 産業振興課商工振興係
7	地域の課題について	小布施町社協や交通安全協会への名簿の提出について自治会は個人情報の取扱い事業者という立場でもあり、現在の運用方法を継続していくことが困難であると感じています。この部分について、見直しをご検討いただきたい。 また、各自治会が団体会員のような形で、会員としての恩恵を受けられるような制度となるようご検討いただきたい。	名簿も含めた個人情報に関するご指摘、制度の見直しについて併せて内部で検討します。 町でも昨年、募金の集め方について見直しを実施しています。見直しの内容を確認し、会費や募金の集め方について改めて周知していきたいと思えます。	桜井町長 新井副町長
			【担当課回答】 小布施町社会福祉協議会や小布施町交通安全協会に対する名簿提出や会費徴収等、個人情報の取り扱いについては各団体と相談し検討してまいります。	総務課 健康福祉課
8	地域の課題について	情報化社会における、行政と住民の関わり方や住民同士の結びつき等についても、従来とかなり変わってきていると感じています。自治会の中には、住民同士がLINEで繋がっている組もあり、面白いと感じています。一方で、何かあったときのお互いの助け合いについては、やはり顔を突き合わせた話が必要となります。 このような関わり合いを新しい視点で見直していく必要があるのではないのでしょうか。	松村のまつぼっくりといった地域のコミュニティは、さまざまな集まりやイベントを通じて形成されています。このような例を参考にし、同様の取り組みを増やしたいと考えています。また、町からはホームページ、町報、同報無線、LINEなど複数の媒体を使って情報提供していますが、町政懇談会のように直接対話できる機会も重要な場であると考えています。	桜井町長
			【担当課回答】 簡易な情報伝達や情報共有手段としてLINEを活用しているケースが他の自治会でもあります。役員間、隣組等の少人数のコミュニティ内で活用しているようです。家庭や生活態様が多様化している今日では効率的な取り組みだと認識していると同時に、ご指摘のように顔を合わせ話をする機会や場はとても重要であるとも考えています。円滑な自治会運営ができるような仕組みを今後も一緒に考えていきたいと思えます。	総務課総務係 企画財政課広報情報係

令和5年度 第2コミュニティ町政懇談会 11月17日(金) 参加者：町民16名 職員8名

No.	カテゴリー	発言内容	回答内容	回答者
9	地域の課題について	パワーウォーキングは町が始めたことなので、責任をもって継続して活動を行っていただけるように対応していただきたい。	ご意見の一つとして参考にさせていただきます。	桜井町長
			【担当課回答】 パワーウォーキングの普及は一定程度進んだと捉え、「正しい歩き方の定着」の普及に取り組んでまいります。「歩き方」はパワーウォーキングやポールウォーキング、インターバル速歩など、様々な手法が各地で取り組まれています。健康づくりのためウォーキングに取り組んでおられる皆様の活動が広がるよう進めてまいります。	健康福祉課健康係
10	環境ランドデザインの取り組みについて	太陽光発電に関する補助金については、個人住宅が対象で、公会堂などは対象外と考えてよいでしょうか。	この補助金について公会堂は対象外ですが、同じ国の財源で補助対象にできそうなメニューがあるため、対応可能か来年度に向けて検討中です。	井関環境防災連携推進室次長
11	環境ランドデザインの取り組みについて	ゼロカーボンシティ宣言をすることで、国からの補助金を活用できるが、町としての考えをお聞かせください。	ゼロカーボンシティ宣言自体は長野地域の9市町村連携で2年前に宣言していて、小布施町も参加しています。今年から始めた太陽光発電等の設置に係る補助はまさにこの国の補助金を活用したものとなっています。	井関環境防災連携推進室次長
12	環境ランドデザインの取り組みについて	温暖化については、待ったなしの状況となっており、町民も覚悟を持って進めていかないと目標を達成できないと感じています。堆肥化については、高山村の例を参考にしながら共同で事業を行うことも考えられるのではないのでしょうか。町でも積極的に取り組んでいてもらいたい。	太陽光発電や蓄電池の導入については、目標を達成するために、ぜひ皆様方にご協力いただきながら進めていきたいと考えています。生ゴミを資源化するために堆肥化や各家庭でのコンポストの利用などそういったご協力もいただきたいと思っています。	桜井町長

令和5年度 第2コミュニティ町政懇談会 11月17日(金) 参加者：町民16名 職員8名

No.	カテゴリー	発言内容	回答内容	回答者
13	地域の課題について	一升瓶のリサイクル率が低下しています。町でも回収していますが、これは割れビンとして回収されています。お持ちいただければ5円で回収させていただきます。お持ちいただければ5円で回収させていただきます。お持ちいただければ5円で回収させていただきます。	当日回答無し	住民税務課住民係
			<p>【担当課回答】</p> <p>町報掲載については、前向きに検討させていただきます。なお、一升瓶だけでなく、ビール瓶などリターナブル瓶については、販売店にお持ちいただくよう、毎年全戸配布しているごみ・資源物分別収集カレンダーや、町ホームページで周知を図っています。また、土曜・日曜資源回収の際にも、リターナブル瓶をお持ちいただいた場合には、販売店にお持ちいただくようご案内しています。</p>	